

## 第32回上越市景観審議会 次第

日時：平成27年5月28日（木）

午前10時～正午

会場：上越市役所4階401会議室

1. 開会

2. 会長の選任

3. 部長挨拶

5. 議題

（1）平成26年度の景観事業の報告

（2）今年度の景観事業について

6. その他

7. 閉会

## 平成26年度の取組実績について

### ■景観づくりの推進

#### 1. 景観アドバイザー制度の活用

アドバイザー：色彩 吉田慎悟氏  
 照明 稲葉裕氏  
 デザイン 島津勝弘氏

開催頻度：毎月1回（色彩…12回、照明・デザイン…各6回）

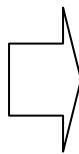
アドバイス案件数：平成26年4月1日～27年3月31日

年度	アドバイス 件数	アドバイスの区分			施設内訳					
		色彩	照明	デザイン	商業	学校	福祉 施設	工場	共同 住宅	その 他
H24	63	49	12	23	7	14	3	0	1	38
H25	44	39	9	15	4	13	0	0	1	25
H26	41	34	10	15	1	3	0	1	3	32

※ 1案件に複数アドバイスをを行う場合があるため、件数と区分合計は一致しない

アドバイス結果：

- ・保育園ということで、ピンクを取り入れたい意向であった。
- ・建築色として、ピンクは難しく、可愛いイメージとしても黄色系の方がなじみやすいことをアドバイス。



## 2. 届出制度

景観づくり重点区域：安塚区全域

年度	地域	件数	内訳						
			商業	学校	福祉施設	工場	共同住宅	無線鉄塔	その他
H24	上越市全域	144	14	14	10	20	10	45	31
H25	上越市全域	110	15	14	11	9	5	19	37
H26	景観づくり重点区域を除く上越市全域	120	20	10	10	18	10	17	35
	景観づくり重点区域	3	0	0	0	0	0	3	0
	計	123	20	10	10	18	10	20	35

## 3. 景観審議会の開催

開催日：平成 26 年 6 月 27 日（金）

議 題：(1) 景観づくりの取組について（公開）

(2) 景観関連作品の応募状況と作品展について（公開）

(3) 平成 26 年度の市民対象景観セミナーについて（公開）



## ■市民意識の啓発活動

### 1. 景観作品展の開催

開催日：平成26年11月7日～12月7日

開催会場：巡回展として5会場で開催

- ・小川未明文学館
- ・浦川原コミュニティプラザ
- ・柿崎コミュニティプラザ
- ・板倉コミュニティプラザ
- ・直江津学びの交流館

展示数：177点

アンケート結果から：

- ・上越は「自然が豊か」「特徴的な街並みがある」というイメージを持たれている方が多い。
- ・良い作品展なのに周知不足という指摘があった。
- ・作品展としては好評であったが、「人の活動があってこそその景観」「景観資産を知らない」「身近な景観にもっと関心を持ちたい」との意見があり、今後の景観事業の方向性、関係課との調整が必要と感じた。



### 2. 景観セミナーの開催

#### (1) 市民対象景観セミナー

開催日：平成26年10月4日

会場：安塚区

講師：講師、参加者意見交換

- ・岡 武夫（NPO雪のふるさと安塚事務局長）
- ・武田 政則（安塚区景観担当）
- ・高波 重春（柳葉ひまわりの取組等花いっぱい運動の先駆者）

内容：(1) 柳葉ひまわり、安塚区のまちなみ見学

- ・安塚中学校裏の柳葉ひまわり
- ・小黒集落休耕田の柳葉ひまわり
- ・切越集落棚田畦道の柳葉ひまわり
- ・安塚八景「ここからみる直峰城跡」視点場

(2) 学習会、意見交換会

- ・地域住民の柳葉ひまわり等の緑化活動の事例紹介
- ・過去・現在の航空写真を比較して建物の色の変化の説明



切越集落棚田畦道



高波重春さんの講義

アンケート結果から：

- ・参加目的が柳葉ひまわり見学という方が多かったものの、講義を通じ「景観」「景観資産」に対する認識も深まったというご意見があり、楽しみながら景観を学習するという目的は達成できた。
- ・柳葉ひまわりを介した地域住民の景観に対する思い、取組みに感心する声が多かった。

## (2) 市職員対象景観セミナー

開催日：平成 27 年 1 月 30 日

参加者：市職員 13 人、建築士会 1 名（建築等技術職：11 名、施設管理者：3 名）

目的：技術系職員のスキルアップ

内容：(1) 講義

- ・色彩計画の基本
- ・事例紹介

(2) 現地での調査

- ・グループごとに、南新町の周辺の色調査

(3) グループワーク

- ・色測結果のまとめ
- ・色彩計画の検討

(4) 発表

- ・グループごとに発表

(5) 講評



(1) 講義



(3) グループワーク



(2) 現地で周囲の色測



(4) 発表

セミナーの感想：

- ・ 時間配分、時期などに反省点はあったが、アンケート結果も好評であった。
- ・ 講師からは、市民向けの実践型セミナーをやってはどうかと提案があった。
- ・ 実践型セミナーは、時期を見てまた開催したい。

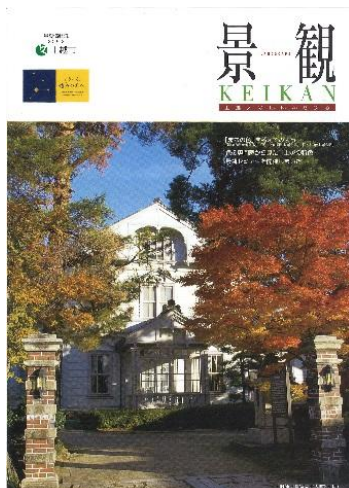
### 3. 景観情報紙の発行

目的：広く市内外から上越の素晴らしい景観を知っていただくための景観関連作品の募集と応募作品について情報を提供し、景観への関心を持ってもらう。

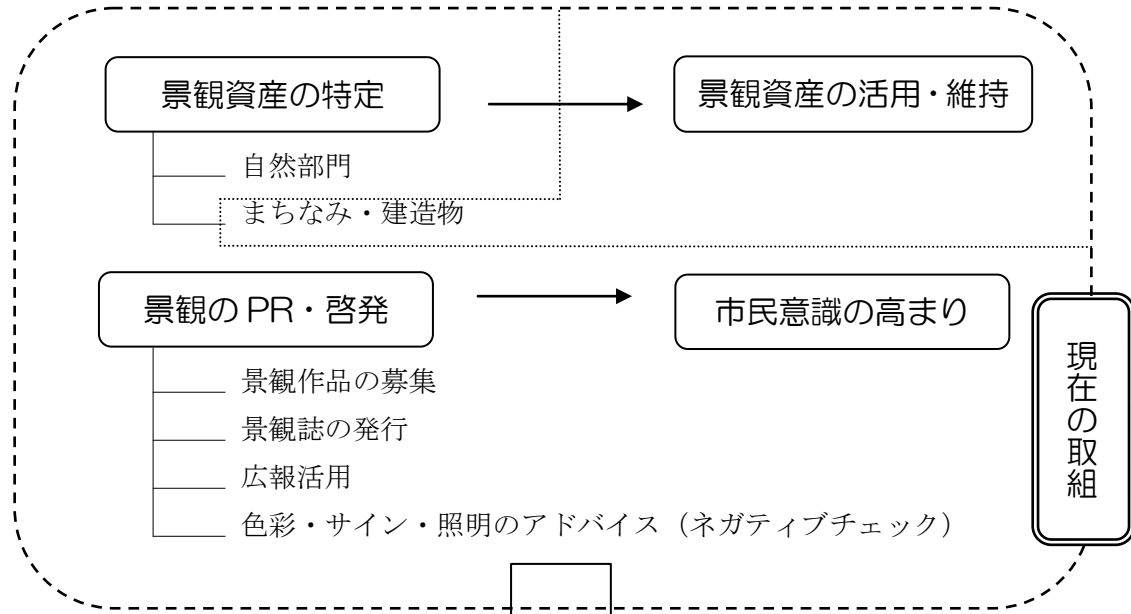
発行部数：77,000部

配布先：全戸、各区総合事務所、出先機関、ふるさとJネット会員 等

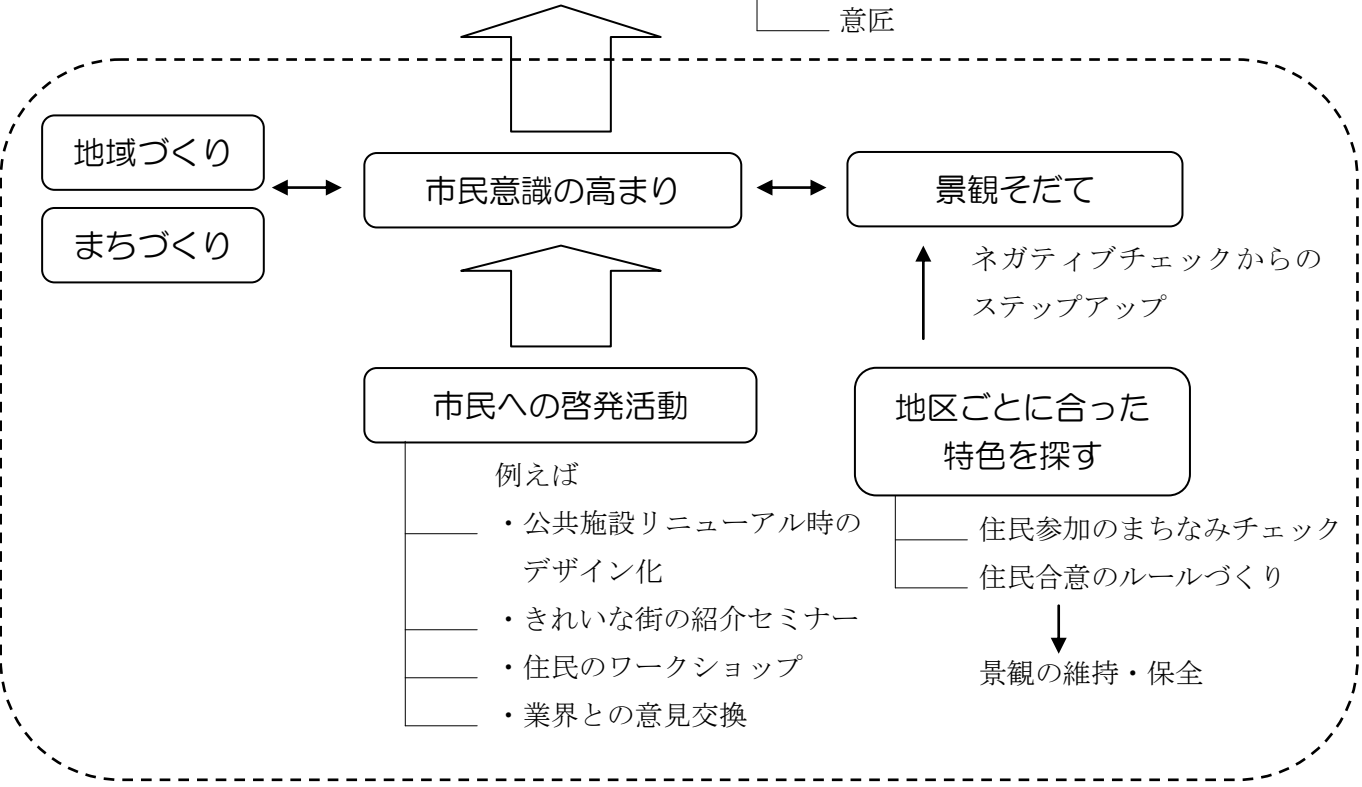
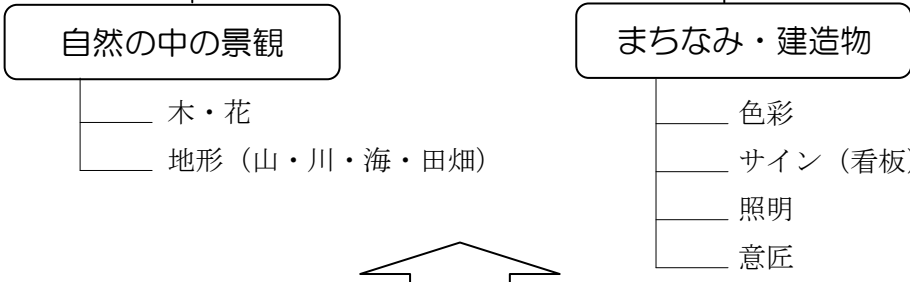
内容：テーマは「色」



# 上越市の目指す景観



## 美しいまち上越



## 【平成 27 年度の取組について】

## ◆市民参加型の取組の実施

区分	26 年度	27 年度				内容
		4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	
景観資産の特定	景観関連作品展	—	—	—	—	景観資産特定を予定していたが、特定の方法について、改めて精査することとした。
景観セミナー	「市民対象」 安塚区の秋の色って何色？～柳葉ひまわりと市民の取組～	「地域に入る」 …まちづくり協議会と打ち合わせ	地域住民と景観アドバイザーとの懇談会開催	「住んでいて楽しくなる・心地よくなるまち」の実現に向けた取組内容の検討		特定の地域に入り、景観アドバイザーの力を借りながら、地域住民と協力して景観づくりを行う。
	「職員対象」 市営南新町住宅 4 号棟色彩計画	景観アドバイスを 経て最終色彩計画確定	(現場工事)	現地見学会の開催		昨年度実施した景観セミナーの題材とした南新町住宅の改修結果を見学する。
				「実務者向け」実践型セミナー開催		市職員等、実務者向けの実践型景観セミナーを今年度も開催する。
景観啓発	—	景観アドバイスを 経て色彩計画確定	塗装 塗装結果の周知			地域の色に合わせて公園の遊具を改修（試験取組）
補助制度	方針確定 予算措置	要綱作成	募集開始			景観づくり推進組織の認定基準を定め、景観づくりに対してソフト事業で補助を行う。
景観情報紙	テーマ：「色」 2 月 15 日発行	写真収集	写真収集 稲葉アドバイザーへのインタビュー	編集	発行	テーマ：「あかり」 稲葉アドバイザーから助言をもらいながら進める
景観審議会		5 月：第 32 回審議会 今年度の取り組みについて				